

**没後20年 杉山 寧 展**  
 ー日本画を超えた日本画家ー

と き／9月4日(水)～9月16日(祝) 10:00AM～8:00PM  
 ところ／京都高島屋グランドホール《7階》(会期中無休)  
 京都市下京区河原町四条下ル ☎075-221-8811

杉山寧は、1909(明治42)年東京に生まれ、東京美術学校在学中の1932(昭和7)年には第13回帝展特選を受賞するなど、早くからその才能を開花した。その後1963(昭和45)年には、ピラミッドなどをモチーフにした旺盛な連作を発表し人気を博した。対象をしっかりと捉え、優れた造形から生まれる作品は、どれも強い生命力を讀んでいる。1970(昭和45)年日本芸術院会員、74(昭和49)年に文化勲章を受章、文化功労者となり、その後1993(平成5)年に84歳で没するまで、精力的な活動を続けた。



「境」 1980年

本展では、初期から晩年までの代表作を含む約70点を一堂に展観する。杉山芸術の力強い歩みを振り返ることで、日本画の力を再認識していただきたい。

**ポップの目**

ーアーティストたちは現代文化に何を見たかー

と き／9月7日(土)～10月6日(日) 9:30AM～5:00PM  
 ところ／滋賀県立近代美術館(祝日以外の月曜と9/17、9/24休館)  
 大津市瀬田南大萱町1740-1 (JR瀬田駅よりバス) ☎077-543-2111



「生」 1971年

ポップ・アートは1950年代半ばのイギリスで生まれ、60年代のアメリカで花開き、70年代初頭にかけて全世界的に大きな影響をふるった現代美術の運動。ポップ・アートの多くは現代人なら誰でも知っている有名人や商品のパッケージ、時事の出来事、名画やマンガのイメージなどを作品のモチーフに用いた。そこには戦後の大量生産・大量消費社会と、マスコミ、マスメディアの発達もたらした爛熟した現代大衆文化、そして公民権運動やベトナム戦争に揺れる1960年代アメリカ社会の矛盾に満ちた赤裸々な姿が反映されており、これらポップ・イメージは社会を辛辣に風刺する写し鏡として、アートという枠を越えて現代文化、若者文化全般に広い影響を及ぼした。



トム・ウェッセルマン  
 「グレート・アメリカン・ヌード #6」



ロイ・リキテンスタイン  
 「泣く女」

本展は、彼らポップ・アートの作家たちが現代社会に何を見たかを中心コンセプトに据え、戦後アメリカ美術の大規模なコレクションで知られる滋賀県立近代美術館のコレクションを通して、1960年代アメリカン・ポップ・アートをいま一度振り返ろうとする試みである。

併せて、ポップ・アートの先駆者であるロバート・ラウシェンバーグやジャスパー・ジョーンズ、それに篠原有司男や赤瀬川原平ら日本のアーティストたちの作品も展示。特にラウシェンバーグが滋賀県の信楽に滞在して制作した大掛かりな陶製の作品4点はめったに見る機会のないユニークなもので、20年ぶりの公開となる。

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1
	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	映画をめぐる美術-マルセル・ブロータースから始める																→10/27															
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	10/11まで全館休館																→10/11															
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	祇園祭 ー綾傘鉦の名宝ー(～10/14) 京名所風俗図の世界(～9/16) 細川家 永青文庫コレクション5 「中近世絵画の精粹-描かれる日本のすがた-」(～9/8) 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝3 (9/14～10/27) 京都府コレクション 池大雅 (9/23～11/4)																→12/1														
	3F	特別展 八重の桜 会 六疊 展 ハルシメ 展	京都文化博物館開館25周年記念 京都府立総合資料館50周年記念 京都・美のタイムカプセル																													
	4F																															
	5F		上田ミチヨ ソーイン グ教室作品発表会	ドルシン フォニー in 京都 vol.4	書・板倉華譜展 (万葉集全巻4516首) 日本画 洛展 書 九月の会 第18回 現代文人光画展	第24回 光風工芸 明日へのかたち展 第14回 dpi展																										
	6F		貸展示室(6F/和室・畳敷70畳×3室、45畳×1室)のご相談は 京都文化博物館企画事業担当(075-222-0895)までお気軽にご相談ください。																													
別館		講演 会	音楽 会	音楽 会		音楽 会	音楽 会	音楽 会		京都アートフリー マーケット		音楽 会																				

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1	
		曜	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	②	火	水	木	金	土	①	②	火	水	木	金	土	①	②	月	火
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	日本美術院展 京都書道連盟展	再興 第98回 院展京都展																→10/6															
	別館	現創会書展	第30回 産経国際書展 関西展				第56回 新象展 国際インパクトアート フェスティバル				第104回 公募墨人展				L I N K展11				平成25年度 京都市幼児・児童・生徒作品展 及び姉妹都市交歓作品展															
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	彫刻五人展	京都現代水墨展				第37回 日本画光玄展				第43回 京都写真芸術家協会展				第32回 蒼林社展 (水墨画)																			
	2F	光影展	植田彰子 遺作展 (洋画)				日本美術会京滋奈会員展				第77回 創紀展				第42回 遊於書展																			
	3F						第44回 装研会				「仲々会」作品展 (洋画)																							
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	企画展「モノクロームの可能性-印象の墨絵・東寺小子房襖絵を中心に-」 同時開催企画展「京都現代作家展 テネシーへの想い 北野治男素描展」																												展示替 休館	→10/9				
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	一瞬と永遠の劇場 Elliott Erwitt展 (祝日以外の月曜休館)																												→10/27					
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	木彫秀作五人展 加藤漢山青瓷展	第9回 madoka展				今西方哉染付展				-花の競艶- 加藤雄彰彫金展				第7回 個の地平 (洋画)																			
	グランドホール	天和門照寺 山村御流いけばな展	悠久なる刻を求めて 杉山寧展								宮廷画家 ルドゥーテ 花の美学展																							
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	絵画・版画 入札会	山下充 洋画展				小川裕嗣 陶展				大西敦子・青山健一・高岡香苗 「キラメキ派」絵画三人展				遊賀・成安造形大学ゆかりの作家たち 次世代に連鎖する 想像人 (ファンタジスタ) 作品展																			
	ミュージアム	リニューアル工事のため休館																																
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	京都工芸の精華展																												→10/13					
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	夏期休館														開館10周年記念 秋季特別展 「七宝-手のひらの宇宙」														→12/15					
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	浮世絵の夏-納涼と花火- ~国貞、国芳、広重ら 人気絵師の競演~														棟方志功 幻の肉筆画展														→10/20					
アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	伊万里緑 京都展	杉井美術研究所 卒業生有志 怪物展																																
アトスペース虹 三条通上都ホテル隣 761-9238	石塚源太 (うるし) (月曜休廊)				南新也 characterize				井浦崇×大島幸代 (映像インタラクティブ)				松野純子 (平面)																					
アトスペース東山 東山区三条神宮道東入 751-1830	夏期休廊				第7回 楽しい彫塑 a展				貸ギャラリー受付中				墨象・木工遊空間 三大寺青楓・青木義雄																					
Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122					三人展 (絵画)				中西 和展 (日本画)																									
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	山根須磨子展 -ミクスト・メディアによる-				常設展 HAKUHOU-DOH展				関西美術院の画家たち展 (月曜休廊)																									
イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372	山崎史生展																																	
一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	日本画・洋画常設展																																	
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																	
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																	
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	- LA DOLCE VITA - (木曜休廊) 石井佐枝・小川宜之・黒川正樹・津田友子・安田宏定														長谷川美穂展 - 灰釉 - (木曜休廊)														→10/8					
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画/日本画常設展 (日祝休廊)																																	
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	常設展 秋野不矩・浅野 均・川端健生 小池一範・小嶋悠司・中野弘彦																																	
画廊おかざき 左京区岡崎神宮道西側 761-0027	現代工芸作家常設展																																	
画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062	日本画常設展																																	

①: 企画および常設を中心に活動する画廊 ②: 貸画廊

## 一瞬と永遠の劇場 Elliott Erwitt展

と き／9月7日(土)～10月27日(日) 10:00AM～6:00PM  
ところ／何必館・京都現代美術館 (祝日以外の月曜休館)  
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

エリオット・アーウィットはフォトジャーナリストとして世界の第一線で活躍し、85歳となった現在でもニューヨークを拠点に精力的に活動を続け、彼独自のユーモアとウィットに富んだ作品を数多く発表しています。

1928年ロシア人の両親のもとパリに生まれたアーウィットは、戦禍を逃れて渡ったアメリカで写真家としての活動を始めます。若干25歳の若さで写真家集団マグナム・フォトの一員となり、報道写真に独自の視点を取り入れたマグナム第二世代の代表的な写真家として高く評価されてきました。



「コロラド、アメリカ」1955年



「マリリン・モンロー、ニューヨーク」  
1956年

J・F・ケネディ元大統領、チェ・ゲバラ、マリリン・モンローなど20世紀を代表する著名人も数多く撮影しています。また、1966年から二年間マグナム・フォトの会長を務めるなど、現代の写真界に多くの影響を与えてきました。

アーウィットは世界を転々とする旅行生活の中で、人間観察や人生の移り変わりに敏感に反応できる能力を身につけ、作品を通して、共通言語としての写真の魅力を伝えていきます。

そして、優しさと皮肉に包まれた独特のユーモアと哀愁が漂うエリオット・アーウィットの写真は、人生という劇場の一瞬一瞬を鮮やかに写し出し、私たち鑑賞者の心を惹き付けて止みません。

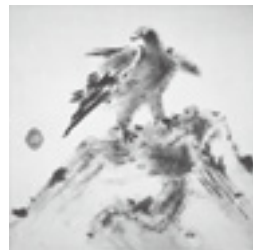
本展では、厳選された直筆サイン入りオリジナルプリント約60点を展覧いたします。エリオット・アーウィットの世界をこの機会に是非お楽しみください。

記念出版『Elliott Erwitt写真集』 2,800円

## モノクロームの可能性 一印象の墨絵、東寺少子房襖絵を中心に

と き／6月1日(土)～9月29日(日) 9:30AM～5:00PM  
ところ／京都府立堂本印象美術館 (祝日以外の月曜と7/16、9/17、9/24休館)  
京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007

堂本印象が描いた墨画作品を幅広く紹介しようとする企画。印象は約60年におよぶ画業において、東洋の古典に西洋的な表現を取り入れた具象絵画から、戦後の抽象絵画にいたるまで幅広い展開を遂げた。そのなかでも、印象は一貫して日本の伝統的な表現手段である墨を用い続けている。昭和初期の風景表現における巧みな墨使いはもちろんのこと、昭和30年代以降に挑戦しはじめた色彩豊かな抽象画においてもダイナミックな墨線が主要な表現として用いられるなど、印象の画業のなかで墨は大変重要な役割を担ったといえる。本展では、東寺少子房の襖絵を中心に、具象から抽象にいたる作品の数々を展覧することにより、印象が描いた墨絵の多様な表現を紹介。彩色画とは一味違う、妙なる世界を鑑賞いただきたい。



堂本印象  
「東寺東少子房 鷺の間襖絵」  
(左) 1934 (昭和9)年



堂本印象「交遊」  
1967 (昭和42)年

併催：京都現代作家展シリーズ 1

「テネシーへの想い 北野治男素描展」  
が新企画の第二弾として開催中である (8月2日 - 9月29日)。

1946 (昭和21)年大阪生まれ、1967年に日展初入選。1970年に京都教育大学特修美術科日本画卒業、真魚のグループを結成。その後主に日展で活躍し、個展も多く開催する。2010年に日展に出品した「樹」で内閣総理大臣賞を受賞。



北野治男「麓」  
2003年



北野治男「夕映に」  
1996年

2011年に内閣総理大臣賞受賞記念・北野治男素描展を銀座松屋で開催している。



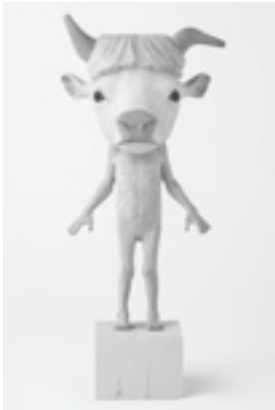
# 山崎史生 個展

と き／9月7日(土)～9月28日(土) 11:00～19:00  
ところ／イムラアートギャラリー京都 (日・月・祝休廊)  
京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31 ☎075-761-7372

イムラアートギャラリー京都では、5年ぶりとなる木彫作家、山崎史生の個展を開催いたします。擬人化された動物に共通するのは寂しげで儂い眼差し。静謐でありながら、力強い存在感を放つ。

「僕の作品が異形の姿をしているのは、その存在の曖昧さに制作者としての自分を投影し、形あるものにする事で肯定したい気持ちがあるからかもしれません」と、山崎は言う。

己の存在を曖昧にしか感じられない現代において、今を迷いながら生きる者たちにとって静かな力となりえる作品である。新作5点を展示予定。



「静かな隣人」2013年  
楠、水彩 62.5×24×18cm  
撮影：岩本浩伸

オープニングレセプション  
2013年9月7日(土) 17:00～

## 山崎史生略歴

1974 兵庫県生まれ

1998 多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業

### 主な個展

2006 「静かな隣人展」Space Roundish (大阪)

2008～13 イムラアートギャラリー (東京/京都)

### 主なグループ展

1998 「コンテンポラリーイープリミティブ展 chapter III.V」Pepper's Gallery (東京)

2003 「オープンスタジオ展」相模原市民ギャラリー (神奈川)

2005 「作家たちの夏休み」ギャラリー遊 (神奈川)

2011 「ZIPANGU展」日本橋高島屋 (東京)、大阪高島屋 (大阪)、京都高島屋 (京都)

2012 「ジパング展 - 沸騰する日本の現代アート」新潟万代島美術館 (新潟)

2013 「ジパング展 - 沸騰する日本の現代アート」秋田県立近代美術館 (秋田)



(カラスの画像)「crow」2013年  
楠、水彩 43w×42×32cm  
撮影：岩本浩伸

## 世界文化遺産登録記念特別展

# 画家たちの富士山

と き／9月11日(水)～10月5日(土) 10:30AM～6:00PM  
ところ／星野画廊 (休廊日：毎週火曜日)  
京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

—明治・大正・昭和を彩る画家たちの名作を一堂に—

日本人の心のよりどころとしての富士山が世界文化遺産に登録された。古今の画家たちは、その雄大で荘厳な光景を絵筆に託して感動を描き留め続けてきている。

本展では、有名無名を問わず、個性派・実力派の画家たちの様々な作品が集められた当画廊のコレクションから、「富士山」を主題の絵画を選び出した。明治から大正、昭和前期にかけて描かれた日本画23点、油彩画16点、水彩・パステル画6点である。中には大正末にロシア革命と第一次世界大戦の混乱を避けて来日し、日本にアヴァンギャルド芸術旋風を巻き起こした「ロシア未来派の父」、ダヴィッド・ブルリユクの珍しい墨絵も2点も含まれている。

画家たちの豊かな感性と鋭い洞察力、特殊なレンズにより絵画としての造形美の中に封じ込められた四季折々に様々な姿を見せる富士山。狭い画廊の空間一杯に今、時空を超えて鮮やかに広がる。



平井樫仙「富士山」  
大正期頃 絹本彩色/軸装



ダヴィッド・ブルリユク  
「少女と猫と富士山水」  
大正9年 紙本墨画/軸装



不染鉄「富嶽」  
昭和初期頃 杉板に彩色 額装



吉田博「富士(山中湖)」  
大正期頃 油彩12号



岡村宇太郎「富嶽」  
昭和30～46年頃 絹本彩色/軸装

# はつとび展

と き／9月14日(土)～9月23日(祝) 10:00AM～5:30PM  
ところ／ギャラリー鉄斎堂  
京都市東山区新門前通東大路西入 ☎075-531-6164

私達絵かきが絵との出会いを大切に、題材等からいろいろ教えてもらい、それを深く、じっくりと生かし歩みたいと思っています。

しかし、年と共に気力も体力も衰え、描く意欲もなくなるようで、時々気合いを入れて思い切って飛ぶ、それが十名そこそこのグループ「はつ・とび」の願いです。ギャラリー鉄斎堂・川崎社長のご好意で2年に一度、横浜「画廊土瓶」での小品の発表と交互に発表し、もう6回目を迎えます。「なんで絵を描いているのか」「絵の力とは」「絵の役目とは」「日本画とはなんだろう」と描きながら解明出来たならばと思っています。

古画を扱っている鉄斎堂、川崎さんだからこそお願いし、前回より踏み込んでもらったのですが、我々の作品と共に先達の先生方の作品と併せた展示をしていただき、自分はこのまま進んでいって良いのか、人に伝わる絵とは何か。自分がまだまだである事、最後まで絵を描き通せる作家に育っていきたい。勝ち負けの問題でなく、競い合いの世界から一歩上に出てほしいと願っています。

今回は、大小、合計6メートルの作品を、一人一人が描く事になっています。よろしくお願ひします。

影耳

メンバー

伊藤影耳 石村雅幸 小田切恵子 木村恵子 杉山 紅  
高田峻典 出口直介 林 克彦 安惠隆司



小田切恵子「何も着たくない」 40号



林 克彦「マフラーズ」 20号



高田峻典「むくげ」 4号



安惠隆司「六角堂」 150号

# 棟方志功「幻の肉筆画展」

と き／9月13日(金)～10月20日(日) 10:00AM～8:00PM  
ところ／美術館「えき」KYOTO (会期中無休) ☎075-352-1111  
京都市下京区京都駅ビル JR京都伊勢丹7階隣接

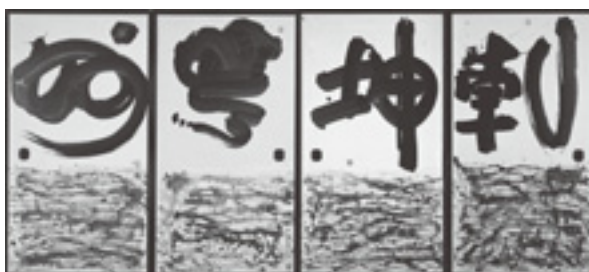
青森県の鍛冶職の家に生まれた棟方志功(1903～1975)は、18歳の時ゴッホの「ひまわり」に衝撃を受け「わたばゴッホになる」と画家を志した。33歳の時に民藝運動の創始者・柳宗悦に版画を絶賛され、棟方は次々と傑作を生み出し、国際的にも数々の受賞を重ねた。1970(昭和45)年に文化勲章を受章した。

本展では、棟方と同郷で長年交流を続けてきた旧所蔵家宅(京都・山口邸)の全面に描かれた肉筆の「建築装飾画」の世界を紹介する。棟方は、京都で出版会社を経営していた山口繁太郎氏とは展覧会を通して同郷のよしみで交遊を重ね、1942(昭和17)年に最初の文集『板散華』を山口書店から出版、その後京都に来る度に山口家に滞在した。円熟期の60歳を過ぎた頃、山口邸の襖に肉筆画を描きはじめ、納戸、扉、板戸などあらゆる所に水墨や彩色画をほどこした。

これまで画集などでその存在は知られていたが、所蔵先は未公開で実際に人の目に触れることがなかった。2010年より三重県のパラミタミュージアムに所蔵され、その全容が公開された。個人宅でありながら、その保存状態が極めて良く、この度、肉筆画をはじめ板画(版画)約45作品を縁のある京都での初公開となった。その中には、棟方の代表作である「二菩薩釈迦十大弟子図」と改刻前の「二菩薩図」も含まれる。知られざる棟方芸術の神髄が里帰り展示で楽しめる。



京都山口邸室内写真



「襖絵」



「万妙如意図」

〔今月の展覧会より〕

## HIRO展（日本画） 柴田比呂子+久保田ひろみ

と き／9月17日(火)～9月22日(日) 11：00AM～6：00PM

ところ／ギャラリー高倉通

京都市中京区高倉三条上ル（京都文化博物館前） ☎075-221-3390

北白川の大学で日本画卒業後、「カト」にて「うたかたの作品展」、次の年から、京の街角点一ひろみの世界一をさせていただいて、今年は5周年記念にして、学友比呂子さんと共にひろみ+比呂子=HIRO展をさせていただくことになりました。

私は旅が大好きで日本画に入学するやいなや、イタリア旅行へ行ける西洋美術史を選択、1年生で参加し、卒業記念として三科されていた比呂子さんとヴェネツィアで出逢いました。団体ツアーを終え、私は英国への一人旅を計画していましたので、ヴェネツィアの港で、イタリアに残られる予定の担当の先生と共に帰国される学友達を見送りました。去り行くタクシーの一番高い所から身を乗り出し、ちぎれんばかりに手をふってくれたのが比呂子さんでした。

その後、私の京での個展には必ず大きな花束とお菓子を持ってかけつけてくださり、今回は感謝の気持ちをこめて、HIRO展におさそいした次第です。

久保田ひろみ



柴田比呂子

「セレナーデ(昼)、ヴェネツィアにて」 6F



柴田比呂子

「ノクターン(夜)、ヴェネツィアにて」 6F

岩絵具に魅せられ二十年、空の澄んだ青、海の深い蒼、豊かな自然の色彩を小さな世界に表現しようと時間を旅してきました。ヴェニスには、最もその意識を強くした場所。

柴田比呂子



久保田ひろみ

「八か月」 80号絹本



久保田ひろみ

「天の川幻想」 80号絹本

## 大平和正展

ギャラリー白川の造化Ⅱ／風還元「球体」

と き／9月21日(土)～10月20日(日) 12：00～6：00PM

ところ／ギャラリー白川（月曜休廊）（東山安井信号東入南下ル）

京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

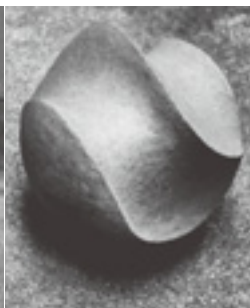
「フォルムは、すべて「球体」へ還る」という理念のもと、土の球体を制作続ける大平和正のギャラリー白川での2回目の個展です。武蔵野美術大学卒業後、石・金属などによる彫刻を制作。1974年、伊賀市に転居、作陶を開始します。2001年には、自然の中に佇む彫刻を歩いて体感してもらおうと、伊賀、入道谷の広大な空間で半年間もの間作品を設置した「風還元/屋外プロジェクト」を発表。さらに、5年前、2013年の完成を見据えたプロジェクト「巨大な土の球体φ4.1m」を立ち上げ、2013年の今年の春、野焼きによって完成させました。「そしてこの巨大な球体は、大平の風還元」の理念〈造形と場そして気(いのち)〉との関係を体感するために、作家が理想とする幾つかの異なる環境（都会の真ただ中・海辺・深い森の中・神域・廃墟など）に順次、移動設置される時を待っています。

大平は、制作された球体の造形が置かれる場と時との関係の一体化から現れる環境造化〈気の生まれる時空間〉を〈風還元〉と呼びます。ギャラリー白川の造化Ⅱ／風還元「球体」、ご高覧くださいませ。

作家在廊日 9月22日(日)、29日(日)、10月6日(日)、20日(日)



ギャラリー白川の造化Ⅰ／風還元「球体」(2010年9月ギャラリー白川での会場風景)







会場	日曜	日曜																																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1					
④ ⑤ ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	保護犬写真展						それぞれのアプローチ						松崎扶美子展						平塚景堂展 (平面)																	
	4F	中島千華展 (立体)						石見恵理展 (立体)						タケミチ・アキ展																							
	5F																																				
④ ⑤ ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997		花夢展			アトリエピンク 合同作品展			八田眞那和						あんずの会						石井康正作品展																	
④ ⑤ ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348		夏期休廊												寄神千恵子陶展 (月曜休廊)																							
④ ⑤ ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450		陶芸作品常設展示																																			
④ ⑤ ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700		「龍馬と酢屋」常設展 (水曜休廊)																																			
④ ⑤ ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110		藤井蓮 貼絵展 (水曜休廊)												藤井勘介絵画展 (会期中無休)																							
④ ⑤ ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321		常設展												ジュラール・サンドレイ日本初個展 (クレアション・フランジュ!)												→10/13											
④ ⑤ ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138		アンティーク西洋美術展 (ガレ・ドーム) & 作家陶芸在庫処分 (9・17・24・30日休廊)																																			
④ ⑤ ギャリエ ヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1号館	1F	遠藤 隆雄	手工羅布都展ハンドクラフト展						京都創造藝術家協会展						MUTSUMI布花展						第2回 大人の子供会展															
		2F	黒林																			斎藤治男展 (パステル風景画)															
	2号館	1F							同立展 (同志社大学・立教大学)						綾の天然染織と純国産絹 「綾の小石丸の会」展																						
		2F							吉村元男写真展「滝を創る」						歩きながら考えるルネサンス 内山進 個展																						
④ ⑤ 京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435		貸ギャラリー受付中																																			
④ ⑤ 京都東急ホテルギャラリーkazahana 下京区堀川通五条下ル 341-2646		現代の日本画家5人による自選展												鈴木靖将 (日本画)・晴嵐 (陶芸) 万葉展												→10/2											
④ ⑤ 京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102		常設展示 (水・木曜休廊)																																			
④ ⑤ 京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902		万華鏡ファンタジー						瀧野誠一写真展																													
④ ⑤ 京町家ギャラリー桂風 下京区仏光寺高倉東 361-4146																																					
会場	日曜	日曜																																			
④ ⑤ 京都芸大ギャラリーアクア 中京区御池通堀川東入 334-2204		サイレントアクア2013						ARTであしあと4 : 染織卒業・修了作品「綵飾純美」																													
		五ヶ国の芸術大学学生によるイラストレーション「Noasense」												水田實個展「レトロボリス」																							
④ ⑤ COHJU contemporary art 中京区丸太町寺町西 256-4707	1F	夏期休廊																																			
④ ⑤ 堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	2F	夏期休廊												ラ 野 イ 花 南						反原発展																	
④ ⑤ 里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423		貸画廊受付中																																			
④ ⑤ 蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232		長谷川可奈 版画展 (会期中無休)												常設展 蔵丘洞ノ棚コーナー (日祝休廊)												→10/12											
④ ⑤ 大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388		常設展 (コンセプトチュアル リズムアート)						e・g・g・o 0036大井梓展 (会期中無休)						常設展 (コンセプトチュアルリズムアート) (日祝休廊)																							
④ ⑤ 梅軒画廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510		日本画・洋画常設展 (日・祝休廊)																																			
④ ⑤ ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533		小川文齋 回顧展												神津善之介 油彩画展																							
④ ⑤ 星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670		休廊						名作発掘品展						休廊						世界文化遺産登録記念特別展「画家たちの富士山」 (月・火休廊)												→10/5					
④ ⑤ 松本松栄堂 中京区寺町美川上ル 212-0626		新古書画展示即売 (16日・月末休廊)																																			
④ ⑤ MAEDAHIROMI ART GALLERY 中京区河原町二条上ル 741-8757		常設展																																			
④ ⑤ まるごのギャラリー 中京区姉小路寺町東入 744-0105		夏期休廊						本荘正彦 秋彩り展 (水曜休廊)												貸ギャラリー受付中																	
④ ⑤ 村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960		常設展 (火祝休廊)						- 不易流行 - (会期中無休) 竹内浩一・村田茂樹 ふたり展												常設展 (火祝休廊)																	
④ ⑤ ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341		四人分の糞 (平面・立体)						谷廣和油彩画展																													
④ ⑤ 龍枝堂画廊 中京区寺町二条上ル 252-4120		休廊中																																			

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)  
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。  
<http://www.kyoto-art.net/>